

令和4年度 福井市中央卸売市場経営戦略の進捗状況について

I 経営戦略について

- ・令和3年3月に策定及び公表済。計画期間は令和3年度～令和12年度の10年間。
- ・「魅力的な市場」及び「機能的な市場」を2つの柱とし、6つの基本目標を設定。28の取組を行う。
- ・令和7年度頃を目途に中間検証を行い、これまでの取り組みの進捗状況や課題の検証を実施予定。
- ・福井市中央卸売市場運営協議会において年度ごとの進捗管理を行う。

II 令和4年度 取組状況等

- ・11月に秋の火災予防運動の一環として東消防署と連携して、消火器を使った初期消火訓練やはしご車での救出など大規模な消防訓練を実施し、場内業者の防火意識高揚を図った。
- ・場内で発生した持ち込みゴミの分別を徹底することにより、令和4年度において達成基準を上回るリサイクル率を達成した。
- ・令和4年度も第7波、第8波到来による福井県感染拡大警報の発令などがあったが、行動制限の緩和などにより新型コロナウイルス感染症拡大の影響から徐々に回復し、ふくい鮮いちばでは、昨年度よりも多くイベントを開催した。

(1) 魅力的な市場

ア 食の安全安心への対応

(取組評価)

- A: 計画以上の取組を行い大きな成果をあげているもの
- B: 計画通りの取組を行い一定の成果を上げているもの
- C: 取組が不十分、又は次年度以降の取組となるもの

取組内容	取組状況等	取組評価	
		R3	R4
○衛生管理の徹底			
1 衛生検査機関等との連携による食品の安全性向上	市保健所による立入検査の実施(随時) 県食品衛生協会による食品衛生講習会の実施	B	B
2 市場内衛生環境の保全	放鷹によるドバトの追払い業務及びカラスの追払い業務の実施(年間24回)	B	B
○商品の品質管理体制の充実			
3 食品検査の強化	残留農薬検査、細菌検査を実施(年3回18品目、全て異常なし)し、結果を公表	B	B
	食品表示法に基づく立入調査の実施(年1回)		
	量目検査の実施(年6回 訂正率:16.67%)		
○危機管理体制の確立			
4 危機事象への対応	業務継続計画(BCP)の確認を行うとともに、秋の火災予防運動の一環として東消防署と連携した大規模な消防訓練を実施(R4.11)	B	A

イ 環境負荷が少ない市場の実現

取組内容	取組状況等	取組評価	
		R3	R4

○リサイクルの推進				
5	資源物のリサイクルによる廃棄物の削減	場内で発生したゴミの分別の徹底 リサイクル率※ 1,465t÷1,980t R4 74.0% (R1 66.5% → R12 73.2%)	B	A
○省エネルギーの推進				
6	省エネ設備への切り替えによる電気使用量の削減	老朽化した照明器具の更新時にLED照明器具に交換(福井青果事務所:5台、市場冷蔵:1台、関連棟店舗:1台、屋外トイレ:1台 計8台) 電気使用量:R4 549万kWh (R1:524万kWh → R12:514万kWh) 増加の理由:消雪設備の利用増等	B	B
○社会的な環境活動への貢献				
7	環境活動への参加・支援	市場内敷地を資源回収場所として提供し、環境活動に協力(R4.10 灯明寺中学校資源回収の集積場として利用)	A	A
		場内及び市場周辺道路の清掃活動(R4.4 福井中央市場青果卸売協同組合青年部) 鮮いちばにおいて環境活動に関するイベントを実施及びポスターを掲示することで来場者に対し啓発(10月「食品ロスをなくそう」)		
8	脱炭素社会を目指す活動への参加	市場内のフォークリフト電動化やトラックのEV化に係る情報収集継続中	C	C

※ (パレット+発泡スチロール+段ボール+廃プラ・金属くず等+魚腸骨)÷総排出ごみ量

ウ 市民に開かれた市場の実現

取組内容	取組状況等	取組評価		
		R3	R4	
○ふくい鮮いちばの充実				
9	ふくい鮮いちばの店舗の充実	空き小間への新規出店者と協議中	B	B
10	ふくい鮮いちばの集客力強化	イベントを11回開催(R3:7回開催)	B	A
		鮮いちばリーフレットを新調し配布(県外観光客向けに県内や近県の宿泊施設へ2,145部配布)		
		市役所本館市民ホールの行政情報モニターで広報(H30~、本庁1・2階3台分で随時)		
○卸売市場の機能・役割の周知				
11	市場見学、市場開放イベントの開催	学校等の市場見学会(27団体、819人)	B	B
		早朝市場見学会(3回、27組71人)		
		市場フェスタ中止		

12	メディア、インターネット等を活用した情報発信	「Facebook」「市場 HP」等で情報の発信 (R4: 82回) 各種行事について報道機関に情報提供し、TVや新聞等で市場をPR	B	B
○地域交流活動への支援				
13	地域ふれあい広場の活用	一般開放の実施: 3月~11月(8:30~17:00) (こども園の園外活動、スポーツ団体の練習での利用、R4、延べ24団体、265人)	B	B

(2) 機能的な市場

ア 中央卸売市場の機能維持

取組内容	取組状況等	取組評価		
		R3	R4	
○公共性の担保				
14	市場の公正性・公平性の担保	公認会計士による財務検査の継続 検査対象業者 卸1、仲卸6 計7社 検査実施期間 R4.9~R5.1(講評等含む) R3年度末の開設者検査(農林水産省)において指摘事項はなかったが、マニュアルを改定し2回目となる開設者による業務検査の実施 検査対象卸売業者 花卉部 検査実施期間 R4.10~R5.2(指導等含む)	A	A
○経営改善支援策の充実				
15	経営基盤強化の推進	経営セミナーの開催(「FRUXグループ」 (R5.3))10団体参加 財務検査結果に基づく指導	B	B
16	事業連携の推進	一部青果仲卸業者では共同配送を始めており、引き続き共同配送・共同加工等の事業連携事例の調査及び情報収集継続中	C	B
○市場運営の効率化				
17	事務手続等の見直し	自動車保管場所使用承諾証明書について、場内事業者からの手数料徴収を廃止して事務負担を軽減	A	A
○市場の経営戦略の確立				
18	経営戦略の検証及び見直し	今年度の進捗状況を報告(R5.3)	B	B
19	取引ルールについての検証	各部取引委員会での聞き取り(改正意見なし)	B	B

イ 物流の効率化、販売力の強化

取組内容	取組状況等	取組評価	
		R3	R4

○市場ブランドの構築				
20	量販店等への販売力強化	啓新高校と協力し低利用魚のサゴシを使った商品開発に挑戦、鮮いちばにて協力事業者向け相談会を実施(R5.2)	B	B
21	近海今朝とれ市のブランド化の推進	早朝市場見学会(3回、27組71人)で一般市民(消費者)が実際のせりを見学	B	B
○産地との連携				
22	産地との連携による集荷力の強化	優良出荷者の表彰 (各部1社以上→R4 青果部2社)	B	B
23	地場製品のPR	地場製品の情報発信 鮮いちばで「越前がれいウィーク」をはじめとする各種イベントの開催 地場産品初せりの情報発信(ズワイガニ、R4.11)	B	B
○実需者ニーズへの対応				
24	加工設備の充実	関連事業者が加工施設を整備	B	B

ウ 施設の長寿命化と有効活用

取組内容	取組状況等	取組評価		
		R3	R4	
○施設の計画的な改修				
25	設備の改修	消雪設備改修工事(11月完了)	B	B
26	建物の長寿命化	卸売棟屋上改修工事(R5.12完了予定) 建物不具合箇所の修繕を実施(随時)	B	B
○既存施設の有効活用				
27	卸売棟や関連商品売場棟の空小間の解消	卸売棟: 出店1 鮮いちば: 返還1 出店予定2 関連商品売場棟(中・北): 返還1	B	B
28	余裕敷地の有効活用	余裕敷地を H29.3.31 から観光バス駐車場として活用(R4、延べ利用台数17台)	B	B

III まとめ

経営戦略における28の取組内容のうち、令和4年度の評価としては、

A: 6、B: 21、C: 1

となっている(A評価 R3:3→R4:6)。今後も各取組評価が上がるよう引き続き推進を図っていく。

【参考資料】 福井市中央卸売市場経営戦略(概要版): 令和3年3月策定